

北海道聖書学院 2022年度2学期(8/17~11/11)聴講のための授業案内

曜日	科目名	講師・教師	授業内容
火曜日	ギリシャ語文法③	高橋政宣師	1学期から学び始めています。聴講を希望される方は、来年度4月よりご参加ください。
	キリスト教史② (通年の科目)	川崎憲久師	「知識もなしに言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。」(ヨブ記38:2)歴史を知ることを通して神の摂理に対する信仰の目が養われます。2学期は、十字軍から宗教改革までを学びます。
	日本教会史 (2・3学期で10週)	川崎憲久師	幕末から戦後までの日本のプロテスタント教会の歴史を聖書の視点で見ることを通して、私たち現代日本の教会に見えてくる今日的課題を考察します。
水曜日	聖書地理	吉田麻希子師	テキスト「バイブルワールド」と模型を使いながら、聖書の舞台となったイスラエルの地理を学びます。主な地形・町を覚え、聖書の出来事と地理を確認しつつ学ぶことで、より深い理解を目指します。
	ヘブル語文法④	松元 潤師	旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。 <b>初めての方は3学期からご参加ください。</b>
	旧約聖書通論② (通年の科目)	吉田 浩二師	創世記から小預言書までを3学期かけて学びます、各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。
	詩篇	松元 潤師	「詩篇は詩であるということ、しかも、歌うことを意図した詩です。教理論でもなく、説教ですらないということである」というC・S・ルイスのことば通り、類型で読むのではなく、聖書本文が語ることに聴きます。
木曜日	礼拝論	中川昭一師	「礼拝」は教会における中心であり永遠へと続くいのちの源泉です。礼拝の豊かさを求めた現代の多様性は同時に議論にもなります。本講は方法論ではなく聖書から礼拝を考えます。
	神論 (2学期10週/3学期5週)	吉永 光生師	<b>(全15回)</b> 聖書から神がどのようなお方(神の属性、近さと遠さ、三位一体など)で、何をなさる、なさったお方(計画、創造、摂理など)かを学びます。教理的知識なしに霊的健全さを保つことはできませんが、単なる知識を身に付けるのではなく、神に仕え、神を喜ぶことを目指します。
金曜日	共観福音書	小澤和男師	共観福音書(マタイ、マルコ、ルカ)を読むとき、記事の寄せ集めという印象がつきまとうかもしれません。この学びでは各福音書の構造を詳細に分析し、神がそれぞれの記者を通して、いかに深い配慮と計画をもって書いてくださったのかを明らかにしていきます。
	聖霊論	水草修治師	キリストの救いを適用する聖霊とのみわざについて学びます。聖霊は誰か、聖霊のわざの総括、救いの順序と予定、義認、聖化、子とすること、聖霊によるバプテスマ、御霊に満たされること、超自然的賜物の理解といった内容です。
土曜日	説教理論Ⅰ	菜花 和男師	説教理論の概要とその基礎を学びます。題目説教、聖句説教、講解説教の違いを理解し、それぞれの説教準備の手順を身につけます。
	新約聖書通論② (通年の科目)	吉田麻希子師	新約聖書の各書巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。

(聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき、1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回)

複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。